

輸送の安全のために、 絶えず取り組んでいること。

安全でしかも安心できる輸送のために、私たちは日々チェックを繰り返しながら、
事故の未然防止と再発防止体制の向上を追求しています。

乗務員の運転技術を磨くことはもちろん、
万が一の事態に備えて素早かつ確に対応するための訓練も実施。
全社員が一丸となって絶えず実行・確認・改善を行う取り組みが、
お客さまの信頼をつくりだしています。

輸送の安全確保に取り組む

運輸安全マネジメント

ヒューマンエラーを原因とする事故などの多発を受け、2006年10月より開始された国の制度「運輸安全マネジメント」。この規範に基づいた安全管理規程を制定し、全役職員が一丸となって絶えず輸送の安全確保に取り組み、さらなる改善に努めています。

職場環境を見直し無事故をめざす

事故防止サービス向上懇談会

運行・整備管理者が主体となり、乗務員を対象に事故防止とサービスや知識・技能の向上を目的として毎月開催。職場で発生した事故や苦情、ヒヤリ・ハットの報告のほか、事故事例の再発防止に向けた指導や実車を使用した操作訓練、健康管理に関する教育などを行います。

安全の大切さを呼びかける

交通安全キャンペーン

年末年始の安全総点検運動の一環として毎年12月に実施。当社バスの主要駅周辺で、職員が歩行者に交通安全の呼びかけを行うとともに、安全啓蒙を促すオリジナルグッズを配布します。

乗務員の知識・技能を磨く

安全運転宿泊研修

茨城県ひたちなか市の安全運転中央研修所で、若年乗務員を対象に安全な旅客輸送に必要な知識・技能を講義や実技を通じて学ばせます。中堅乗務員を対象としたフォロー研修なども実施。

乗務員の業務をチェックする

添乗指導・点呼指導

作業基準に定められた運行や出入庫の点呼、お客さまへの注意喚起・マナーなどが適切に守られているかを、添乗指導員や管理職が抜き打ちでチェックし、フィードバックします。

事故や苦情の再発を防止する

事故防止サービス向上委員会

安全統括管理者ならびに管理部門の担当課員や各営業所の運行管理者が参加し、年8回開催。最近発生した事故や苦情について詳細な報告が行われ、再発防止に向けた検証に取り組むとともに、この委員会を得た情報を各職場での指導教育に活用します。

無事故を達成した職場の表彰などを行う

安全対策サービス向上委員会大会

社長以下、各営業所のスタッフや乗務員の代表が参加し年2回開催。無事故の目標を達成した職場の表彰や、事故防止・サービス向上に関する活動の発表などを行います。

職員の安全意識を高める

社長職場巡視

夏季や年末年始の前に社長・役員が職員を激励し、安全確保や業務の円滑化、サービスの向上を図るのが目的。社長からの訓示に応え、職場ごとに所長が安心・安全輸送の完遂を誓います。

テロなどの発生に備える

非常事態への対応訓練

テロやバスジャックなど非常事態の発生を想定し、関係機関・本社への連絡体制の強化、被災者の救出や避難誘導の対処能力の向上などを図るため、警察や消防と対応訓練を実施しています。

事故分析や指導に役立つ

ドライブレコーダー・デジタルタコグラフ

万一の事故発生や苦情が寄せられた際に、状況確認とその原因を客観的に究明できる常時録画型ドライブレコーダーを導入。速度やエンジン回転数などを記録するデジタルタコグラフも搭載。

